

夕刊警城時報

行發日二十二
印刷所警城時報社
印刷人岡田弘成
一部金貳圓 一月金卅圓
廣告料一行十四字卅五字
日刊(日曜祝祭日)五日休刊

郡市ともに著しく増加

昨年十月一日現在の人口

昨年十月一日現在の木縣人口は十二、女十萬六千二百七十九、式した
二十一日統計から発表された合計二十一萬六千六百一十一人で、尙
が合計百六十七萬二千八百七十五縣下四市以外の町村で人口一
人で時局關係により二厘の減少以上を有するもの八町二ヶ村の
を示してゐるにも拘らず、石城郡は半数の五ヶ町村を
郡は前年にくらべ六千五百三十占めてゐる
六人、平市は九百五十七人の増
加を見せ地方の發達ぶりを物語
つてゐる、即ち平市は男一萬七
千九百九十七、女一萬六千五百六
十六、合計三萬三千七百六十三
人、石城郡は男九萬九千八百二

職業別人口に見る

石城地方産業の發展ぶり

別項、本縣人口を職業別に見ると千四百七十二人、公務自由業は
と農業では石城郡四萬四千八百一十二人で同じく第二
三十二人で第三位、水産業は石位、家事使用人の最多も石城郡
城郡断然多く四九百七十七人、で二千三百七十一人、最少は平
城郡もまた石城郡が最多を占むる八十一人である、その他の
二萬一千三百八十八人、工業は有業者最多も石城郡の六千二百
石城郡第三位で八千六百五十九人で最少はこれまた平市
人、商業では石城郡が一萬二千六百六十五人であるが、無業
九人で福島市に次ぎ第二位となすも石城郡最も多く六萬三千五
つて居り、交通業も第二位で一七七八人に達してゐる

小川江筋竣功式

けふ取入口で盛大に舉行

二十八万圓の巨費と六ヶ年の日口で竣功式を舉行した、關係者
手を費した警城小川江筋農業水來管合せて二百名出席、石田耕
利改良工事は去る三月末漸く竣功地開闢、坂井經濟部長式辭
功したので二十日午前十時半石井技師工事報告、富澤地方農
から小川村開闢地内の江筋取入長外數氏の來賓祝辭あり正午閉

養蠶協議會

養蠶取締支所では二十六日午

前九時から平陽女學校で管内市
町村勸業主任會議を開き左の諸
件を附議
一、養蠶取締支所、桑園害虫
一、桑園害虫駆除週開
設定、一、桑園害虫駆除週開
成、一、遺棄防止施設助成
一、桑園害虫駆除助成、一、農村
速成桑園設置助成、一、農村
統計報告

四倉青年總會

四倉青年總會は今二十二日午
前八時から四倉會館で開會、終つ
て新編子に行軍、團遊會を催し

大會で晴の表彰

本縣町村長大會は二十三、四兩
日相馬郡原町資料女學校で開會
優良町村吏員二十七名を表彰す
るが、石城郡では湯本町書記藤
岡一馬、小名濱町書記村上良太
郎の兩氏が表彰を受ける、その
功績は左の通り
△藤岡一馬氏、大正六年五月
書記就任以來勤続二十二年に
及び主として勤業統計、學務
戸籍、寄附事務を擔任し常に
精勵勤事務の刷新改善を圖
りその成績良好にして整理の
見るべきものあり、その他庶
務を兼任し町民に接するに懇
切誠懇事に當り町民の信譽厚
い、五十四歳
△村上良太郎氏、大正九年四
月書記就任以來勤続十九年、
現在議事事務を擔任し且つ勤
業、統計、兵事、上水道を兼
務し熱心事務に當り其の成績
何れも良好にして模範吏員た
り、その他諸法規の研究、諸
帳簿の整理に努力し十年一日

保育事業講習

縣社會事業協會主催の季節保育
事業講習會は來月六、七兩日平
第三小學校で開會する、講師は
縣立會津高女校論語地ツヨ女史
日程第一日は保育事業經營法、
第二日は唱歌と遊戯

市内銀行

市内各銀行
臨時休業
では來る二
十五日靖國神社大祭當日敬意を
表し臨時休業する

藝妓同盟會出席

二十五日東京日蓮雅樂園に開か
れる全國藝妓同盟會に地方から
左記諸氏が出席する
平市組合長國府田直良、幹事
鈴木武雄、濱野延田、白土喜
伯、顧問野崎誠藏△江名町組
合長佐藤半三

本紙慰問號への禮状

中支は今の榮の花盛り

中支派遣片村部隊 和田清一君

拜啓、春風駘蕩萬物回春の喜
びに隨つて中支第二回の陽春を
迎へ轉た感激に堪えませんが、
貴社初め諸君の接命並に各位
には益々御勇健にて國家總動
員の体制の下に聖戰の目的達
成をめざし物心兩方面活動の
第一戦にたれ御活躍の由邦
家の爲御同慶に堪えませんが、
此の度は貴社時報慰問特輯號
を御送附され報里の事情を
知りこれより結構な頂戴物を
有りませんが、厚く御禮申上
す、平市の事變下に於ける發
展圖進は實に目覚ましき事、尙
各種關係各位の協力一致して
就後の護りに御活躍され居り
し事感謝に堪えませんが、貴社
を通じ御禮の傳へ下さる様御
願ひ申上ます、御禮を以て
小生こと相變らず健康に専
居りまして職務に奮闘を續け
居ります、御休養下さい、之
も一重に皆々様の神佛への御
祈願と存じ感謝致し居ります
實家としての便りにて出征軍人
家族として特に御配慮の數々を
居る由皆様の御配慮の数々を
報じ來り陣中に日本軍人の
の幸福をせしめじみ味はつ
て参りました、故里の皆様へ
の感謝感激の涙あるのみです
この感謝の萬分の一に酬ひ奉
り御高麗の軍務に具現
べく努力を續けて居ります
故今後ともよろしく御後援を
程御願ひ申します
中支の當地も日毎に暖かさを
増し桃花も咲き緑の葉は穂が
出揃へ黄色な葉の花は今を盛
りと咲き誇り戸外に開放され
たる子供が片言交りの日本語
や日本の歌を眞面目に唄つて
遊んで居る姿は平和そのもの
です、平和な日の訪れつつあ
る中支の現状を特に日本化
れるを見て實に嬉しく感じま
す、陽春とはいへ氣候不順の
折、切に皆様の御健康を祈
願し、非常時帝國の
十三兩日平市團休事務所で生産

滿洲移民募集

本縣では第八次滿洲農業移民
隊早期入植者を募集してゐるが
募集人員は約百名、〆切は五月
十日、また第九次滿洲農業移民
隊〆切は同じく五月十日
尙六月一日内原訓練所に入所
すべき昭和十四年度青少年義
勇隊第二次募集を開始した

軍事後援會寄付

市内下平窪鈴木子之吉、江尻芳
松さん謹元の念佛講中で金十圓
を二十一日市軍事後援會へ寄付

早大生献金

入山泰顯
社宅、早大生田目新平君は去る
學期末の休職中に際し禮金の
仕事を手傳つて贈られた禮金の
うち三圓を國防献金した

勿來の忠魂祭

勿來町では二十三日午前九時か
ら同町神宮神社に忠魂祭を執行
終つて日露戰役以來の勇士に今
事變の歸還兵を圍んで座談會を
開き併せて出征軍人ならびに今
年度入營兵の武進長久祈願祭を
執行

四倉驛長更迭

四倉驛長佐藤五郎氏は仙臺驛
貨物主任に榮轉、後任は仙臺驛
事運係加藤金作氏と決定

羊毛共同處理

縣羊毛組合聯合會では來月十二
日三兩日平市團休事務所で生産

菅波醫學士

四倉に開業

前野場助役の令息
四倉町木町、前同町助役菅
波千之助氏次男菅波氏は今回父千
之助氏病氣のため歸郷し同町元
猪狩理髮店跡の實家を改築し五
月上旬頃開業することになつた
菅波氏は昭和九年東京昭和醫
專卒業後千葉醫大佐々内科研
究室に入り現在まで同研究室
で内科呼吸器科研究の傍ら鴨
橋市渡邊病院副院長として性
病科臨床に従事してゐた新進
刀圭家である

市農事經營協議

平市農會では二十四日午後一時
から市會議室で昨年度水稲坪刈
品評會發給式を執行、終つ
て農事實行組合長會を開會、農
家組合整備強化、共同作業獎勵
肥料及農業資材供給統制、米増
産、病虫害防除、畜牛飼育獎勵
等を協議する

謹告

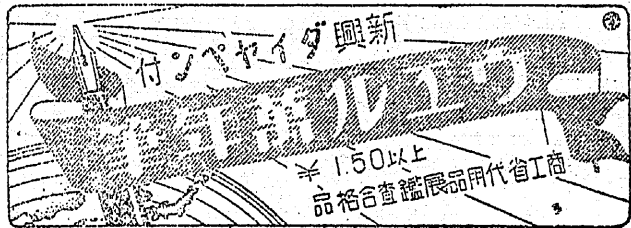
來ル四月二十五日
靖國神社臨時大祭
二付敬意を表シ謹
テ臨時休業仕候
平市銀行組合

あす市葬の

明二十三日午後一時から第三小
學校で市葬執行の廣瀨大尉大尉
の昇柩は左の如し
宮城縣石巻市出生、大正九年
四月宮城縣水産學校卒業、大
正十三年五月水産講習所發給
科卒業、昭和三年四月一日幹
部候補生として歩兵第二十九
聯隊へ入隊、昭和四年三月三
十一日陸軍歩兵軍曹に任ぜら
れ除隊となり豫備隊編入、昭和
四年三月鹿兒島縣農林技師に
命ぜらる、昭和七年四月一日
任陸軍歩兵少尉、叙正八位、
昭和十年九月二十一日宮城縣
農林技師、昭和十三年七月一
日任陸軍歩兵中尉、叙從七位
葉家真南方に於て史河を強行
渡河して敵の精銳數ヶ師を以
て堅固に防禦せる富金山及八
百高地附近の激戦に参加、次
いで十月十九日〇〇高地に於
て戦死、同日任陸軍歩兵大尉
叙正七位、當年三十二才

廣瀨大尉略歴

明二十三日午後一時から第三小
學校で市葬執行の廣瀨大尉大尉
の昇柩は左の如し
宮城縣石巻市出生、大正九年
四月宮城縣水産學校卒業、大
正十三年五月水産講習所發給
科卒業、昭和三年四月一日幹
部候補生として歩兵第二十九
聯隊へ入隊、昭和四年三月三
十一日陸軍歩兵軍曹に任ぜら
れ除隊となり豫備隊編入、昭和
四年三月鹿兒島縣農林技師に
命ぜらる、昭和七年四月一日
任陸軍歩兵少尉、叙正八位、
昭和十年九月二十一日宮城縣
農林技師、昭和十三年七月一
日任陸軍歩兵中尉、叙從七位
葉家真南方に於て史河を強行
渡河して敵の精銳數ヶ師を以
て堅固に防禦せる富金山及八
百高地附近の激戦に参加、次
いで十月十九日〇〇高地に於
て戦死、同日任陸軍歩兵大尉
叙正七位、當年三十二才



堂文魁(文)店約特

三井タクシー

平市二丁目
電六八五番

愛煙家の嘆き

東亞建設の重大時局に遭遇しては合はず、印刷に附して常に開國內の物資は極端に統制され、断なく出ている。とおつしや...

煙草問題のついでに希望では、大衆に當るが、市公會堂の「禁煙札」は愛煙家にとつて、抄からせしめてゐる、専賣局に言はせぬ神經を痛めてゐるが、喫煙所は...

八方散 治飲んで腫物の妙薬 水野薬局

無年 社會盡無 本湯 電話七四番

集募 永続者には将来の保證を致します サロン 電話五二九

吸入用酸素純度99% 体温器 寒暖計 電話四〇番

健康 志願 立身 營業 家運 電話六五〇番

吉田眼科 平市紺屋町(電話六八番)

江戸前定食 御好み天婦羅 本本店 電話六七九番

御婚禮 御宴會 御法事 酒喜家 電話一七一番

洋酒と喫茶 魁文堂 電話二〇〇番

安齋醫院 産婦人科 電話四五七番

折詰屋 製造 電話一四一番

モノ洗 洗濯の時機に「モノ洗」を 電話三五二番